

ハヌカ・ハヌカ!



みなさん、こんにちは。またまた年末で、もうすぐお正月ですね。みなさんはお節料理だけではなく、久しぶりに兄弟や親せきに会うことも楽しみにしているでしょう。そのために大掃除やお正月の準備でとても忙しいと思いますが、今回はイスラエルの楽しいお祭りの話を聞いてください。

お祭りの名前はハヌカといいますが、みなさん聞いたことはありますか？毎年12月あたりに8日間行われるお祭りです。12月あたりというのはユダヤのカレンダーでははっきりと決まっていますが、陰暦なので日本で使われている太陽暦のカレンダーと毎年少しづつずれるので「12月あたり」になります。

このお祭りは約2,000年前に始まったものですが、いまだに世界中のユダヤ人が祝っています。始まりは



イスラエルがギリシャに支配された時でした。ギリシャはユダヤ人をみんなギリシャ人にしようとして、ユダヤ教の習慣、勉強、儀式などをすべて禁止しました。ユダヤ人は宗教を大切に守ろうとして、必死に戦いながらこっそりと禁じられたことをやり続けました。その当時、エルサレムに神殿がありましたが、神殿がギリシャに滅ぼされたり、汚されたり、メノラに火をとすための聖なるオリーブ油までこぼされたりしました。圧倒的に人数が少なかったユダヤ人がやっとのことでギリシャに勝って、神殿を取り戻した時にメノラに火を付けようとしたが、神殿の隅にあった小さな壺以外、オリーブ油がどこにもありませんでした。量的に一日分しかない油がなんと！8日間もメノラの中で燃え続けました。その奇跡を祝ってお祭りが生まれました。

「灯りのお祭り」とも呼ばれるこのハヌカのシ

ンボルは「ハヌキヤ」です。9本のロウソク立てに、最初は2本から毎日一本ずつ増やして火を付けます。ハヌキヤを窓際に置くので、外から見るととてもきれいです。

油の奇跡ということで、油を使った料理、ドーナッツやレビポット(ジャガイモのお焼き)を楽しみます。8日間もあるから家族だけではなく友達や親せきを誘ったり、呼ばれたりしてみんなで行うのが本当の楽しいところです。子どもの頃、私はハヌカがほかのどんなお祭りよりも好きでした。なぜなら、美味しいものを食べられるということもあったけれど、子どもならだれでも喜ぶ、日本でも行われる、ある習慣があったからです。それは・・・お年玉！ハヌカ玉と言って、大人が子どもにお金をあげることです。多くの親せきに会えば会うほど金額が増えるから、子どもたちにとっては最高のお祭りでしょ？

日本ともう一つ似ているお正月の子どもの遊



びがあります。

それは・・・コマです。「セビボン」というのは日本のコマと同じように回

りますが、形が丸ではなく、四角です。そして、各面に文字が書かれています。その当時はヘブライ語の勉強も禁じられていたので、勉強をセビボンの遊びに見せて子どもたちに教えたという伝説です。

日本と遠く離れた場所のお祭りですが、意外なところで似ている独特な習慣があって私はビックリしています。みなさんはどうでしょうか？

ハニトさんへの質問は

hanito@town.yaotsu.lg.jpまでどうぞ！